

報道関係者各位

2025年1月23日
水ing株式会社

沖縄県企業局と「名護浄水場 2 系沈澱池機械設備工事契約」を締結/水ing エンジニアリング

水ing株式会社のグループ会社である水ingエンジニアリング株式会社（社長：須山晃延、本社：東京都港区）を代表とする共同企業体は、2024年9月、沖縄県企業局との間で、「名護浄水場 2 系沈澱池機械設備工事」に関する契約を締結しました。

【本事業の背景】

沖縄県内北部の5市町村へ水道用水を供給している名護浄水場は、老朽化した施設の耐震化が求められています。本工事では、別途発注される耐震化工事に伴い、老朽化した沈澱池の機械設備（急速攪拌機、フロキュレータ、傾斜板、汚泥掻寄機、配管）を更新します。

水ingグループは、これからも地域の水インフラ持続のために、様々な技術やサービスの提供で貢献してまいります。

【事業概要】

- 工事名：名護浄水場 2 系沈澱池機械設備工事
- 対象施設：沖縄県企業局 名護浄水場
- 受注者：水ingエンジニアリング（株）・琉穂建設工業（株）・（株）イチゴ特定建設工事共同企業体
- 入札方式：一般競争入札方式
- 計画処理量：27,000m³/日（うち、今回工事 15,000m³/日）
- 処理方式：凝集沈殿ろ過方式
- 工事内容：急速攪拌機 1 台、フロキュレータ 8 台、傾斜板沈降装置 2 池、汚泥掻寄機 4 基、配管工事一式
- 契約金額：794,200,000 円（税込み）
- 工事期間：2024年9月26日～2028年2月29日
- 工事場所：沖縄県名護市大北地内

◇水ing（すいんぐ）グループについて◇

水ing（読み：すいんぐ）は、「生命の源である『水』を通じていつまでも社会に貢献し続ける『ing』」を経営理念に掲げ、水処理施設（浄水場、下水処理場、汚泥再生処理センター、し尿処理場、民間施設等）の設計・建設から運営、維持管理までをトータルに手掛けています（運転・維持管理の拠点は、国内約 300 か所）。地域の暮らしの課題に目を向け、安全安心な水環境を提供し続けるとともに、循環型社会の実現を目指しています。

（公式 WEB サイト <https://www.swing-w.com>）